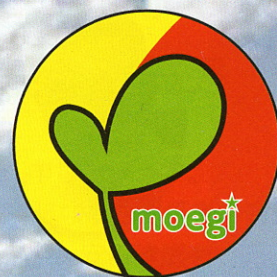


自閉症総合援助センター 萌葱の郷
豊後大野子育て総合支援センター

ASSIST



～芽吹く未来へ～

◆戸次なごみ園

平成 29 年 5 月、大分市戸次地区に、放課後等デイサービス事業として戸次なごみ園を開設し、9月からは、児童発達支援事業も始めました。戸次なごみ園は、社会福祉法人萌葱の郷の 4 番目の児童通所事業所となります。利用児が地域で安心して暮らしていくために、合理的配慮に基づいた環境設定の中で、一人ひとりの「特性」や「課題」に応じた発達支援を提供していきたいと思ひます。

2017.11.1 発行
VOL.13



萌葱の郷のめざすもの

理事長 五十嵐 康郎
(全日本自閉症支援者協会副会長)

6月27日に「萌葱の郷実践研究会」を46名の職員有志によって立ち上げました。研究会を設立した趣旨は、「発達障がい児・者の福祉・療育並びに保育・教育・子育て支援に関する調査・研究により、萌葱の郷の実践と理念を明らかにし、広く社会に貢献する」と会則に記載していますが、私たちの仕事は単に障がいのある方や子どもたちのお世話をすることにとどまらず、実践と研究によって発達障がい児・者支援や療育、幼児教育や保育のあり方を明らかにし、豊かな育ちと暮らしを実現し、社会に貢献することです。

あえて申しますが、ハート（愛）とサイエンス（科学）とアート（芸術）がなければ、二次障害としての行動障害を生み出し、虐待に結びつくことも少なくありません。

150年余の治療教育の歴史があり、その多くが今日においても価値を失っていません。動作法や応用行動分析、TEACCHプログラム等の有効な技法や理論が次々と生まれ、脳科学や神経生理学にも日々新たな発見があります。

私は幸運にも日本の第一人者と言うべき師に恵まれました。田村一二先生（一麦寮）からは障がいのある人も無い人も共に唯一無二の存在だと学びました。福井達雨先生（止揚学園）からは差別と闘う姿勢を学びました。石井亮一先生（滝乃川学園）からは「愛」と、たとえ素晴らしい理論であっても金科玉条のごとく守るのではなく、超えるべきと学びました。石井哲夫先生（嬉泉）からは関係性の重要性を学びました。

三十数年前、石井哲夫先生が主宰した自閉症児治療教育実践講座に参加し、受容的交流療法を学んだことが、私の大きな転機になりました。実践講座には何度も参加しましたが、毎回、動作法、行動療法、ニューカウンセリング、抱っこ法、心理劇等々、第一人者から様々な理論や技法の講義が行われ、合わせて、施設に泊まり込み、石井先生による実演も行われました。

それまで私は少し天狗になっていましたが、この講座に参加したことをきっかけに自らの未熟さを悟り、数多くの研修会に足を運び、イタール、セガン、モンテッソーリー教育、生理学的教育、動作法、行動療法、抱っこ法、ニューカウンセリング等の本を読破し、幅広く学ぶことに努めました。この経験が、発達障害支援スーパーバイザー養成研修構想に繋がったと思っています。

私は縁あって重い知的障害を伴う自閉症で行動障害の激しい人たちの支援や療育に半世紀近く携わってきました。自閉症についてのお話をさせていただく機会がありますが、本の内容や座学で学んだことの紹介ではなく、自らが経験した強度行動障害事例や実践の中で学んだエビデンスをお伝えしています。実践と研究、どちらが欠けても現場では無力だと思います。具体的でエビデンスのある萌葱の郷メソッドを明らかにする夢を実現したいと思っています。

台風18号における事業所被害のご報告について

障害福祉サービス事業所どんこの里いぬかい 施設長 近藤 暢秀

平素より当事業所の運営につきましては、格別のご理解、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、9月17日(日)の台風18号におきまして、当事業所が大きな被害を受ける結果となり、関係者の皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけしました。当日の夜、警察署より「車が浸水しているので、安否確認を…」との連絡をいただき、初めて状況を知りましたが、事業所の前を通る国道10号線はすでに通行止めとなっており、無理をいって何とか事業所まで辿り着きました。全棟床上浸水しており、一番高いところで約1メートル程水位が上がったと推測され、駐車場フェンスが全壊して公用車2台が流されてなくなっていました(その他の公用車5台も浸水し、うち2台は全損)。ガラス戸が外れ、室内に泥水が流れ込んだ結果、電気系統は使用不可(例:電気、クーラー、冷蔵庫、パソコン、電話)、冷蔵庫や棚等が倒れて書類やレストラン食材等もあちらこちらに散乱し、足の踏み場もない程悲惨な状況を目の当たりにすることとなりました。何から手をつけて良いのか?いつ復旧できるのか?と絶望的な気持ちでございましたが、翌18日(月)、緊急な連絡であったにも関わらず、法人内の各事業所より職員70名以上がかけつけてくれ、その日の夕方には泥水のない室内に戻りました。多大な被害を受けましたが、日曜日であったこともあり、人的被害がなかったことは幸いでした。

被害を受けてから今日まで、関係者の皆様をはじめ、たくさんのお心遣いや陣中見舞い等いただき、ありがとうございました。お陰様で、レストランは25日(月)より再開することができました。改めて、人の力や繋がりの方の強さに感動し、周りから日々助けられて過ごしているのだということを感じ、感謝しております。失ったものや使用不可のものも多く、一時的な代替用品での対応、公用車は各事業所より借用、日中はまだまだ暑い日もある中でエアコンも入らず、倒れたフェンスの修理もこれから等、完全復旧には時間がかかると思われませんが、皆様への感謝を忘れず、1日も早い復旧に向けて、どんこの里いぬかい職員一同頑張っております故、今後ともよろしくお願い致します。



<レストラン・事務室・車両等の浸水した様子>

戸次なごみ園

平成29年5月、地域のニーズに伴い、大分市戸次地区で、放課後等デイサービス「戸次なごみ園」を開設しました。戸次なごみ園は、利用児が地域で安心して暮らしていくために、合理的配慮に基づいた環境設定の中で、一人ひとりの「特性」や「課題」に応じた発達支援を提供いたします。地域における発達支援の拠点となるための相談支援にも努めていきます。また、障害福祉サービス事業所「どんこの里いぬかい」（生活介護、就労継続支援事業A型・B型）とも連携して、支援ネットワークの形成と共に自立と社会参加を図ることを目的に支援します。

そして、9月より児童発達支援事業も開設しました。子ども一人ひとりの生活経験や特性に応じた発達支援、合理的配慮に基づいた環境設定の推進などに努め、対人関係を中心とした育ちを支援します。また、子どもの発達と子育て家庭への支援を行うことで、充実した子育てができる地域づくりを目指して、情報の伝達や相談に応じていきたいと考えています。

《戸次なごみ園の概要》	運営主体	社会福祉法人 萌葱の郷
	住所	大分県大分市中戸次4454-1
	連絡先	TEL 097-578-8323 FAX 097-578-8324 E-mail hetsuginagomi@moeginosato.net
	定員	10名（1日を通じて）
	職員	管理者、児童発達支援管理責任者、保育士
	設備	ホール（指導訓練室）、調理室、医務室、静養室、浴室、便所、事務室、洗面所、倉庫、相談室、園庭、砂場、花壇
	その他	アレルギー対応、地域交流
	協力医療機関	天心堂 へつぎ病院



児童発達支援事業

開所日：月曜～金曜 9:30～13:00

時間	活動
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ○登園 ○出席シール貼り ○自由遊び（外遊び・室内遊び） <ul style="list-style-type: none"> ・園庭ではボール遊びや砂遊びを楽しむ。 ・バランスクッション・三輪車等で体を使って遊ぶ。 ・体を使って遊んだあとは少しゆっくり好きなおもちゃ等で遊ぶ。 ～トイレ～ ○おあつまり <ul style="list-style-type: none"> ・コロコロボール、数字のうた、「おはようのうた」、名前呼びなど。 ○今日の活動（集団活動） ～トイレ～
11:40	<ul style="list-style-type: none"> ○給食 <ul style="list-style-type: none"> 片付け（歯磨き・うがい） ○自由遊び ～トイレ～
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ○帰りの会 ○降園



放課後等デイサービス

開所日：★Aコース（月～金） ★Bコース・Cコース（第2・第4土曜日）

活動	Aコース	Bコース	Cコース
	時間		
<ul style="list-style-type: none"> ○開園 ○あいさつ ○出席シール貼り ○自由遊び（外遊び・室内遊び） <ul style="list-style-type: none"> ・園庭ではボール遊びや砂遊びを楽しむ。 ・室内では玩具を使って遊んだり、絵本を読んだりして過ごす。 ・遊びを通して、友達とのやり取りや遊びのルール、動作技能の習得などを促す。 ・友達やスタッフとの信頼関係を築き、自由遊びを楽しみ、気持ちのリフレッシュをする。 ○集団活動 <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、自己表現や友達と良好なコミュニケーション、社会性を身につける。また、集団のルールの習得や準備・片づけなどの整理意識も育む。 ・施設周辺の散歩や買い物学習 ・季節に応じた創作活動 ・調理活動 ○おやつ ○帰りの会 ○降園 	14:00	9:30	14:00
	↓	↓	↓
	16:40	11:10	15:40
	17:00	11:30	16:00

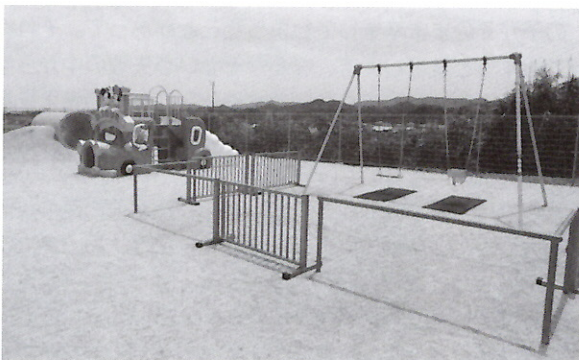
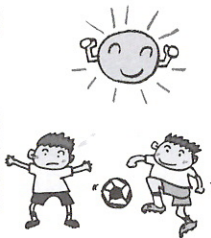
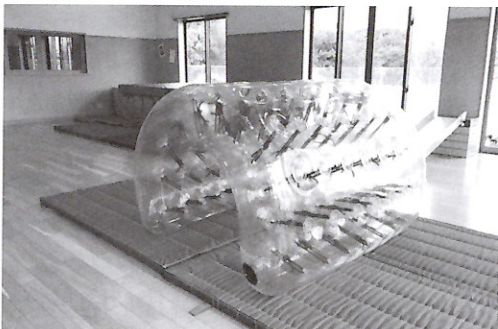
* 保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする方には、保育所等訪問支援事業も行っています。

こども発達支援センター 大分なごみ園

平成 29 年 4 月より本格的に児童発達支援センターに移行し、現在では児童発達支援（幼児）37 名、放課後等デイサービス（学童）41 名の児童に登録していただいております。

大分なごみ園は、社会モデルの理念に基づいて、地域の子育て家庭が安心して暮らせるよう、子ども一人ひとりの生活環境や特性に応じた発達支援、合理的配慮の推進に努め、対人関係を中心とした育ちを支援しています。

活動内容については、法人内の児童発達支援センターなかよしひろばと同様に子ども一人ひとりの発達段階に応じて3つのクラス（こあら・ぱんだ・らいおん）に分かれ、小集団活動の中で代弁を通したコミュニケーション支援や、幼稚園などへの移行支援を行っています。今後も保育所等訪問支援事業などを通して、利用児童を取り巻く地域の子育て支援が充実するよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



平成 29 年度 社会福祉法人 萌葱の郷 強度行動障害支援者養成研修

今年度の「社会福祉法人萌葱の郷 強度行動障害支援者養成研修」が5月と7月に、開催されました。今回も外部からの受講生8名（県外施設3名、県内施設5名）があり、強度行動障害者に対する支援についての意識が高まっていることが伺えます。この研修では、福祉制度や福祉サービス、障害特性などについての基礎的知識から実践的知識まで幅広く学ぶ内容になっています。また、グループ演習も系統的にカリキュラムが組まれているため、実際の現場（支援会議なども含む）で役に立つ内容になっています。

今回も法人職員が担当してカリキュラムを進めましたが、講義「親からの提言」では、保護者の方に依頼して、子育てをしてきた中での感じたことやエピソードなどについてお話をいただきました。私たち支援者は、やはり利用者の一番の理解者である保護者の方の話を聞くことは大変勉強になりますし、日々の療育に活かされると感じました。

今回、研修終了の受講生アンケートでは、一人で悩まず、チームとして取り組み、利用者を中心にみんな連携して、支えていくことの大切さを学べたという感想が多かったです。

conversation with ライフサポートセンターなごみ園 支援課長 秋月 正博

A：今日はよろしくおねがいします。

秋：お願いします。

A：では、早速ですが、福祉の道に進んだきっかけを教えてください。

秋：福祉の道に進んだきっかけ？

えーと、うちのばあちゃんが中学のときに亡くなって、それまでばあちゃんと会うことがお盆や正月の時しかなくて……。なんかこう、めっちゃめっちゃ後悔をして、そこからなんかできなかったのかというジレンマがあって、高齢者福祉のほうに興味が出て、高校を卒業してから福祉系の大学に進もうと。……。それがまず、福祉の道を選んだきっかけです。

A：なるほど～。

秋：それで大学に入って、高齢者福祉のほうに進もうと思ったけど、大学2年の時に、障がい児の受け入れもやっている所で学童保育のアルバイトを始めて、大変なこともたくさんあったけど、子どもがなんというか、自分を求めているところが、自分にとって救いになって。自分も救われたから、そこから、この道しかない！と思って。

A：子どもと関わると元気ですよね～

秋：元々あんまり、自分に自信がないタイプで。3人兄弟の真ん中で、上の姉ちゃんや弟はできがよくて、勉強とかもできるタイプだったけど、自分はできが悪かったもので(笑)。それで、就職する年齢になった時に、学童保育の道に進みたいと思っていたけど、偶然行った福祉の就職フェアの萌葱の郷のブースで、理事長と話したら馬が合って。そこから、面接を受けた時に、センター長に会って、児童福祉もやっている、初めて聞いて、センター長の考えに感銘を受けて、就職をしたい！と。すみません、長くなりました。そんな感じで。

A：そんな流れがあったんですね。

仕事をするうえで大切にしていることはありますか。

秋：仕事をするうえで大切にしていること？は、うーん。基本的には利用者さんが、なんかこう楽しめることとか、幸せであることとか、そういったことはもちろん大事にしているけど。それとプラスアルファで職員のみんなもなんというか、楽しめているとか、仕事が好きくないのかとか、なんかそのへんで、全体のバランスというか、……。みんなが、幸せかなというのは考えているかなあ。

A：それ、私はすごく感じながら働かせてもらってます。

秋：利用者さんの状態が良ければいいというわけじゃなくて、やっぱり職員の状態も良くて、楽しめているということから、良い循環が生まれるのかなあと考えていて、なごみ園全体がいいバランスになってほしいかなあと、思います。

A：現在に至るまで、萌葱の郷で過ごされて、思い出になったエピソードはありますか？

秋：思い出に残るエピソード……。どちらかという失敗のエピソードの方が残っている気がするかなー。いちばん残っているのは、1年目の時にアスペルガー症候群の子ど



話し手：秋月 正博 (=秋)

聞き手：A

もと関わった時のことですかねー。特性による試し行動や、こだわりとかに対して、けっこう熱く関わって、「なんでこんなことするんだろう！」と。指導的な関わりをしたり、正論で捻じ伏せようとしたり。ただ、どんどん関係がとれなくなってきて。うまく支援ができなくなってしまい、その子がそのまま卒業してしまったことがあって。それは今でもずっと後悔してて、なんかそういう失敗の中から学んできたことはとっても多いです。こちらの考えを押し付けるんじゃなくて、ちょっと肩の力を抜いたりとか、受容的交流療法について自分なりに解釈してみようとしたり。そうやって考え直したときに、どんどん自分の関わりが変わってきたというのはある気がする。実は、自分がなごみ園に入ったときに、他の職員の関わりを見て、「なんでこの場面で注意せんのやろー」「みんな甘いなー」とか思うことが多々あって、生意気だったから関わり方に意見を言ったりしてた(笑)。

A：そんなことがあったんですね。

秋：ただ、子どもと関わる中で、行き詰まった時に、他の先生の関わりを取り入れたり、大事にしていることを、自分なりに噛み砕いて、実践するとうまくいったことがあって。だから先輩方とかこれまで関わってきた子どもたちのおかげで、価値観とか関わりが年々変わっていると思う。

A：その体験から学んだことが今大切にしているってことですか？

秋：全くもってその通りです。多分、最初の頃って、みんなできてことは考えてなくて。自分と利用者さんのことしか考えてなくて。他の職員の気持ちを考えてなかった。「俺が俺が」ってなってたところがあって。でも今は1番療育の中で大事にしたり、職員に研修を行う時に伝えてることは、チームプレイの大切さについて。チームで、良い雰囲気や流れを作ることが、良い療育に繋がると。

A：素敵です。今日はインタビュー本当にありがとうございました。

秋：こちらこそありがとうございました。

2016年度 会計処理等取扱指導指針

<http://www.moeginosato.net/>

資産の部		負債の部	
流動資産	232,916,404円	流動負債	22,414,693円
固定資産	838,879,593円	固定負債	214,035,824円
		負債の部合計	236,450,517円
		純資産の部	
		基本金	56,415,470円
		国庫補助金等特別積立金	99,358,488円
		その他の積立金	0円
		次期繰越活動収支差額	679,571,522円
		純資産の部合計	835,345,480円
資産の部合計	1,071,795,997円	負債及び総資産・部合計	1,071,795,997円

勘定科目		決算
就労事業による収支	収入	18,771,370円
	支出	7,267,885円
	就労事業資金収支差額	11,503,485円
事業活動による収支	収入	664,284,286円
	支出	575,962,237円
	事業活動資金収支差額	88,322,049円
施設整備等による収支	収入	122,020,800円
	支出	248,174,593円
	施設整備等資金収支差額	-126,153,793円
当期資金収支差額合計		-26,328,259円
前期末支払資金残高		246,830,621円
当期末支払資金残高		220,502,362円

勘定科目		決算
就労活動収入計		18,771,370円
就労活動支出計		8,302,378円
就労活動収支差額		10,468,992円
事業活動収入計		650,598,755円
事業活動支出計		609,867,776円
事業活動収支差額		40,730,979円
サービス活動外収入計		13,635,531円
サービス活動外支出計		927,482円
サービス活動外収支差額		12,708,049円
経常収支差額		53,439,028円
特別収入計		22,020,800円
特別支出計		0円
特別収支差額		22,020,800円
当期活動収支差額		85,928,820円
前期繰越活動収支差額		593,692,702円
当期末繰越活動収支差額		679,621,522円
その他の積立金取崩額		0円
その他の積立金積立額		0円
次期繰越活動収支差額		679,621,522円

勘定科目		決算		
資産の部	流動資産	現金預金	0円	
		未収金	92,492,184円	
		商品・製品	57,349円	
		立替金	1,152,938円	
		前払金	2,509,425円	
		短期貸付金	0円	
		その他の流動資産	0円	
	合計		96,211,896円	
	固定資産	基本財産	建物	385,484,687円
			土地	160,891,820円
預金			0円	
その他の基本財産			0円	
合計		546,376,507円		
その他		建物	141,207,902円	
		構築物	29,951,272円	
		車両運搬具	17,138,184円	
		器具および備品	24,717,114円	
		土地	36,420,622円	
		機械・装置	4,783,461円	
		施設・設備等積立金	0円	
		退職共済預け金	35,719,824円	
	リサイクル預託金	241,270円		
敷金・保証金等預け金	493,640円			
その他の固定資産	1,829,797円			
合計		292,503,086円		
資産の部合計		935,091,489円		
負債の部	流動負債	短期運営資金借入金	10,008,000円	
		未払金	12,271,693円	
		預り金	0円	
		その他の流動負債	135,000円	
	合計		22,414,693円	
	固定負債	長期設備等借入金	178,316,000円	
		退職給与引当金	35,719,824円	
その他の固定負債		0円		
合計		214,035,824円		
負債の部合計		236,450,517円		

『がんばるもん』のお知らせ



今年も平成 29 年 11 月 23 日（木）に「もえぎの郷地域交流祭がんばるもん」を開催する運びとなりました。地域の方々との交流を深めることを目的に開催しておりました「めぶぎ園まつり」の復活へのご期待から、昨年、約 10 年ぶりに「地域交流祭」として開催させていただきました。多大なご支援、ご協力を賜り、当日は 500 名以上の方々にご来場いただき、天候にも恵まれ全イベントを大盛況のうちに終えることが出来ました。

今年の台風 18 号で、どんこの里いぬかいが浸水被害に遭いましたが、災害にも負けず、今年度も継続して、もえぎの郷地域交流祭を開催いたしますので、皆様お誘い合わせの上ご来場いただきますようお願い申し上げます。

日時 平成 29 年 11 月 23 日（木） 10:00～15:30（雨天時決行）

会場 いぬかいこども園 なかよしホール（旧犬飼町給食センター）

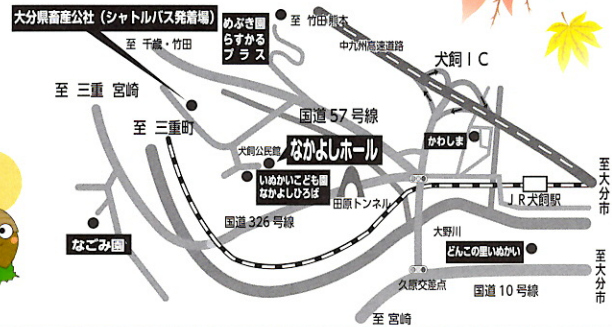


* イベントスケジュール

- 10:00 開会
- 10:15 地域交流ステージ
- 14:30 抽選会
- 15:30 閉会

* その他の催し

抽選会 ★ バザー ★ 露店



★ 社会福祉法人 清水基金 助成事業完了のお知らせ

この度、社会福祉法人清水基金から、平成 28 年度助成金の交付を受けて、マイクロバスを整備しました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、社会福祉法人清水基金をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



障害者支援施設 めぶぎ園(法人本部)

大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-0818
FAX097-578-0819
mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる

大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-1888
FAX097-578-0819
rasukaru@moeginosato.net

相談支援事業所 プラス

大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL097-578-0818
FAX097-578-0819

いぬかいこども園

大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
TEL097-578-0706
FAX097-578-0710
inukai-hoikuen@moeginosato.net

いぬかいこども園 なかよしホール

大分県豊後大野市犬飼町田原 1421-40

こども発達・子育て支援センター なかよしひろば

いぬかい子育て支援センターゆうゆうキッズ(なかよしひろば内)
大分県豊後大野市犬飼町田原 1414番地 1
TEL097-586-8811
FAX097-586-8818
nakayoshi@moeginosato.net

ライフサポートセンター なごみ園

大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
TEL097-586-8070
FAX097-586-8071
nagomi@moeginosato.net

障害福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
TEL097-578-0077
FAX097-578-1226
donko@moeginosato.net

グループホーム かわしま

大分県豊後大野市犬飼町下津尾3709-8
TEL097-578-0885

大分市

大分県発達障がい者支援センター ECOAL
大分県大分市中島西1丁目4番14号市民の権利ビル 202
TEL097-513-1880
FAX097-513-1890
ecoal@moeginosato.net

こども発達支援センター 大分なごみ園

大分県大分市丹生210-3
TEL097-524-36
FAX097-524-3637
oitanagomien@moeginosato.net

戸次なごみ園

大分県大分市中戸次 4454-1
TEL097-578-8323
FAX097-578-8324
hetsuginagomi@moeginosato.net

協力者 御芳名

- ・大分銀行犬飼支店 様・大分ゼロックス株式会社 様・あい石油 様・コカコーラ 様・シーアール 様
- ・滋野信幸 様・武井清展 様・堀修一 様・大宅顕一朗 様・サニクリーン 様・大分県自閉症協会 様
- ・下毛もみじの会、平原伸 様・おひげのパン屋さん 様・アップルミント 様・リファイン大分、宮迫賢太郎 様・衛藤成治 様・21 クラブ 様・三気の里 様・河村賀代子 様・伊美信長 様・(株)レイメイ藤井大分支店 様・梯茂之 様・岡本保博 様・岩崎英一郎 様・豊後大野市商工会 様

編集 後記

7月の九州北部豪雨災害ならびに9月の台風18号で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。また当法人も、9月の台風で「どんこの里いぬかい」の1階部分が浸水し、復旧のために1週間以上の臨時休業を余儀なくされました。全国各地で災害が起こるたびに、「自然には抗えない」という想いと、「多くの方が日常生活を奪われ不安な日々を過ごされている」という現実に胸がしめつけられます。私ども職員一同、利用者の皆様の安全を守るために、日頃から防災・防犯をはじめとする危機管理に対して、備えを万全にする活動に真摯に取り組んでまいります。